

医 健 第 2421 号  
令和6年11月5日

市内医療機関の皆様へ

横浜市保健所長  
修 理 淳

### インフルエンザの市内流行拡大に伴う注意喚起について（依頼）

日頃から本市の感染症対策に御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。  
横浜市では第43週の定点医療機関あたり1週間の患者報告数が1.07となり、  
流行開始の目安(1.0)を上回っているため、10月31日にインフルエンザの市内流行期入りを公表しました。

区別の流行状況では、神奈川区、港南区、磯子区、金沢区、港北区、都筑区、戸塚区、栄区、泉区の市内9区で、定点医療機関あたりの患者報告数が流行開始の基準を上回っています。

引き続き、管内の流行に注意していただき、手洗いの励行や咳エチケット等の感染予防策を徹底するようお願いいたします。

<添付資料>

2024-25 横浜市インフルエンザ流行情報1号

担 当：横浜市医療局健康安全課  
電 話：671-2463 FAX：664-7296  
E-mail：ir-kenkoukiki@city.yokohamlg.a.jp

# 横浜市インフルエンザ流行情報 1号

横浜市医療局健康安全課／横浜市衛生研究所

&lt;&lt;トピックス&gt;&gt;

## 横浜市内はインフルエンザ流行期に入りました

### 【第43週(10月21日~10月27日)の概況】

- ✓ 定点あたりの患者報告数<sup>※1</sup>は、横浜市全体で **1.07** となり、流行開始の目安となる 1.00 を上回りました。
- ✓ 年齢別では、15歳未満の報告が全体の61.4%を占めています。
- ✓ 学級閉鎖等は3校(小学校2、中学校1)で、患者数は63人です。

なお、第43週までの累積は、

- ✓ 市内迅速診断キットの結果は、A型98.3%、B型1.5%、A型・B型共に陽性0.2%で、**A型が多く検出**されています。
- ✓ 病原体分離・検出状況ではA型の分離数が多くなっています。

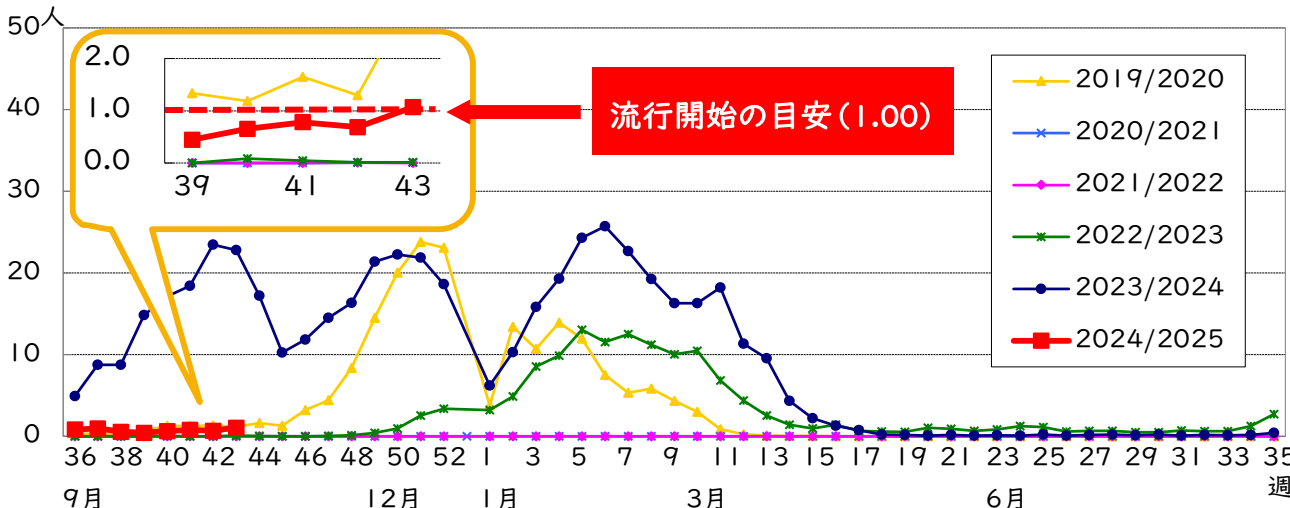
☑ ワクチン接種・咳エチケット・正しい手洗い<sup>※2</sup>等、早めの準備が重要です。

※1 定点あたりの患者報告数とは、1週間に1回、定期的にインフルエンザ患者発生状況をご報告いただく医療機関(市内153か所)からの患者報告数の平均値です。

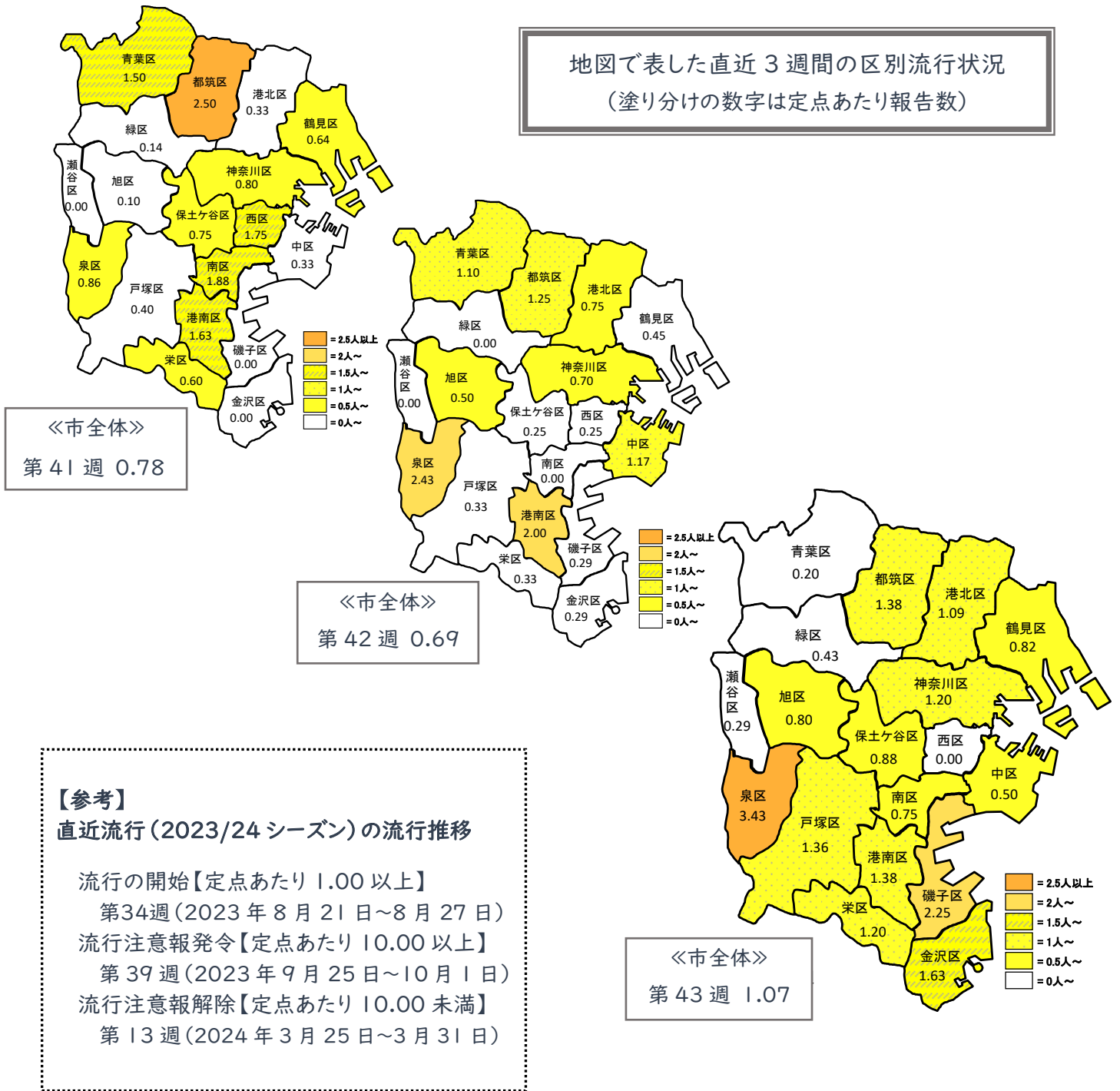
※2 令和5年度インフルエンザQ&A(厚生労働省)に、インフルエンザの予防方法等について掲載されています。

### 【市内流行状況】

市全体の定点あたりの患者報告数は、2024年8月下旬(第34週0.19)以降、緩やかな増加傾向が続き、第43週(10月21日~10月27日)に1.07となり、流行開始の目安となる1.00を上回りました。



地図で表した直近 3 週間の区別流行状況  
(塗り分けの数字は定点あたり報告数)



**【参考】**

**直近流行 (2023/24 シーズン) の流行推移**

- 流行の開始【定点あたり 1.00 以上】  
第 34 週 (2023 年 8 月 21 日 ~ 8 月 27 日)
- 流行注意報発令【定点あたり 10.00 以上】  
第 39 週 (2023 年 9 月 25 日 ~ 10 月 1 日)
- 流行注意報解除【定点あたり 10.00 未満】  
第 13 週 (2024 年 3 月 25 日 ~ 3 月 31 日)

**\* 参考リンク**

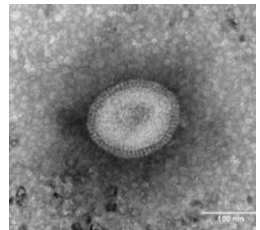
近隣自治体の流行状況

- [神奈川県](#)
- [川崎市](#)
- [東京都](#)

全国の流行状況

- [国立感染症研究所](#)

インフルエンザウイルスの  
電子顕微鏡写真 (6 万倍)



撮影:  
横浜市衛生研究所

【お問い合わせ先】 横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課  
横浜市医療局健康安全課

TEL 045(370)9279  
TEL 045(671)2442